

静岡商工会議所 平成27年度事業報告

第2次中期行動計画『PRESE NCE'16』の2年目にあたる平成27年度は「地域企業から選ばれる、存在感ある組織」をめざして、次の3本の主要テーマに基づき、積極的に事業を展開しました。主要テーマの概要は、以下のとおりです。

1. 企業づくり ～地域企業のライフステージに応じた総合パッケージ支援～

改正小規模支援法に基づき作成した「経営発達支援計画」により、小規模企業の経営戦略に踏み込んだ伴走型支援を強化し、経営革新・販路開拓、経営改善、事業再生、事業承継など、国・県市の施策を活用し、地域企業のライフステージに応じた経営支援を行いました。中小企業再生支援事業では44件の再生計画策定を完了、経営改善支援センター事業では167件の利用を受け付け(全国2位)の実績を挙げました。また、静岡県よろず支援拠点では、西部地区(袋井)にサテライトオフィスを設置したほか、県内商工会議所、商工会等の認定支援機関

との連携により出張相談会を数多く開催し、昨年度の約2倍を超える4,780件の相談に対応しました。
「大手流通業者との商談会」や「首都圏バイヤー招聘特別事業」、「しずおか農商工連携交流会」を開催したほか、小規模事業者持続化補助金については217件の申請を支援するなど、販路開拓の支援に重点を置いた事業を推進しました。



・バイヤー19社、参加企業67社が182件の商談を行いました。

静岡県事業引継ぎ支援センターでは「静岡県後継者バンク事業」を昨年度から実施し、起業家94名の登録を受け付けました。後継者不在事業主

と登録起業家との引き合わせを11回行い、2件が成約に至りました。

静岡県地域ジョブ・カードセンターでは、沼津・富士・浜松商工会議所の各サポートセンターと合わせ、県内4拠点でジョブ・カード制度の普及促進に努めました。また、10月1日から新たに「企業内人材育成推進助成金」の活用推進事業を開始し、県内全域で705社(うち当会議所199社)の訓練実施計画認定を支援するなど、企業の人材確保・育成に寄与しました。

「地方創生」の実現に向け、地域企業の経営者の立場に立ち、新たな取組みに積極的に挑む「攻めの経営」への転換と、新たな戦略の実現に不可欠となるプロフェッショナル人材の採用を支援するための機関として、12月1日に静岡県プロフェッショナル人材戦略



・12月1日、静岡県プロフェッショナル人材戦略拠点を清水事務所に開設しました。

拠点を清水事務所に開設しました。製造業部会の木漆分科会では、「第2回駿河ものづくり・伝統産業フェア」を11月7日から15日まで開催し、21社が出展して200点以上を販売することができました。

2. 地域づくり ～都市の魅力向上と賑わいあるまちづくりへの取組み～

静岡県市、関係団体、事業者等と一体となり、また今年度スタートした「静岡市第3次総合計画」とも連動し、都市の魅力向上と賑わいあるまちづくりに向けた取組みを推進しました。

特に本年度は「家康公四百年祭」が本番を迎え、「全国商工会議所観光振興大会2015 in しずおか」など多くの記念事業の実施により、徳



・徳川家臣団大会には、旧幕臣など約1,200名が駿府(静岡)に集まりました。